

Hamee (TYO: 3134)

2期連続増収増益へ。待たれる成長の再加速

会社概要

◇**Hamee株式会社**（以下、同社）は1997年に創業、2015年に東証マザーズにて株式公開、現在はスタンダード市場に上場。モバイルアクセサリーをはじめゲーミングアクセサリー事業、コスメティクス事業、グローバル事業などを展開する「コマースセグメント」と、インターネット通販事業者向けにネットショップ運営にかかわる業務を自動化しモール横断型で複数店舗の受注処理や在庫状況を一元管理できるクラウド（SaaS）型のEC Attractions“ネクストエンジン”を提供することを主とする「プラットフォームセグメント」の二つのセグメントを分社化して運営している。

なお同社は2025年をめどに次に示す組織再編を計画している。プラットフォームセグメントを担うNE株式会社について株式分配型スピノフを行い、現在の同社株主は将来同社とNE社の2社の株主になる。さらにNE社を株式上場させる。この狙いはコングロマリットディスカウントを回避し、2事業のポテンシャルを適切かつタイムリーに株価に反映させることである。

決算動向と今後の注目点

◇**2024年4月期通期決算**：売上高176.1億円（前年度比+25%増）、営業利益19.1億円（同+50%増）、経常利益20.1億円（同+44%増）、親会社株主に帰属する当期純利益11.2億円（同+18%増）となり、Q3時点で修正のあった通期計画をいずれも上回る、大幅増収増益の着地となった。コマースセグメント、プラットフォームセグメントのいずれも増収増益。前者では各部門が健闘し、特にコスメティクス事業が4Qに営業黒字に転じた。後者ではネクストエンジン事業の契約社数が伸び解約率が低位にとどまるなか、同サービス価格改定によるAPRU向上、およびメルカリとの営業連携に付随する収益上乗せにより高収益を続けている。

◇**2025年4月期会社予想および中期経営計画の修正**：売上高197.4億円（同+12%増）、営業利益20.8億円（同+8%増）、経常利益20.5億円（同+1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益13.6億円（同+21%増）であり、営業利益・経常利益の成長率が控えめである。なお、2023年6月に公表された計画値（売上高194.0億円、営業利益27.5億円）と比べ、営業利益が下方修正になっている。

なお、決算発表にあわせて2023年6月に公表された中期計画の目標数値が修正された。増収増益基調の継続が想定されているが、2026年4月期の目標は売上高が従来の225.1億円から240.5億円に上方修正、営業利益は33.2億円から30.3億円に下方修正となっている。

◇**株価動向と今後の注目点**：株価はこの決算発表を受けて急落し、その後下値を固めている。これは今期、来期の営業利益見通しが従来と比較して下方修正されたこと、特にバリュエーション指標の鍵となるプラットフォームセグメントの営業利益見通しが下方修正されたことを織り込む動きだ。

ただし2016年1月からの長期上昇トレンド、および2023年1月以降の中期上昇トレンドは継続しており、同社の成長期待は変わらないといえる。

今後の注目点は（1）コマースセグメントにおけるコスメティクス事業が通年黒字転換し同事業が複数のドライバーによって安定的に成長する構造になること、（2）プラットフォームセグメントのネクストエンジン事業の受注処理件数が着実に成長し、プラットフォームマーとして地位を固め、成長率が再加速すること、の2点がとりわけ重要になるう。

4Q決算アップデート

小売・ITサービス

2024年7月19日

株価(7/18)

1,156円

52週高値/安値	1,425/813 円
1日出来高(3ヶ月)	73千株
時価総額	188億円
企業価値	166億円
PER(25/4予)	13.8倍
PBR(24/4実)	1.8倍
予想配当利回り(25/4予)	1.9%
ROE(24/4実)	11.9%
営業利益率(24/4実)	10.9%
ベータ(5年間)	1.7
発行済株式数	16.3百万株
上場市場	東証スタンダード

株価パフォーマンス



%	1月	3月	12月
株価	-11	-13	11
相対株価	-11	-14	-9

注目点

プラットフォーム事業のKPIの進捗（契約社数、APRU、解約率など）、コマースセグメントにおけるコスメティクス事業の利益寄与開始と事業全体の安定成長の目処、2025年に想定される子会社のスピノフと上場を視野に入れて特にプラットフォームセグメントのポテンシャルに期待が高まるような株価形成になるのか。

当レポート(Company note)は、Hameeの依頼を受けて作成しております。詳しくは、最終ページのディスクレマを参照ください。

目次

サマリー	1
主要財務データ	2
2024年4月期通期決算動向	3
2025年4月期決算会社予想および中期計画の更新	7
株価動向	9
今後の注目点	10
業績推移	11
参考情報	13

主要財務データ

決算年月		2017年4月	2018年4月	2019年4月	2020年4月	2021年4月	2022年4月	2023年4月	2024年4月
売上高	百万円	8,502	9,377	10,303	11,325	12,364	13,413	14,038	17,612
経常利益	百万円	1,048	1,267	1,179	1,757	2,149	2,330	1,400	2,019
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	696	873	821	1,069	1,556	1,744	945	1,122
発行済み株式数	百万株	15.8	16.1	16.1	16.1	16.3	16.3	16.3	16.3
純資産額	百万円	2,756	3,597	4,189	4,824	6,528	8,253	8,961	10,157
総資産額	百万円	4,240	5,042	5,761	8,097	8,339	10,518	12,320	14,512
1株当たり純資産額	円	170	216	254	297	405	513	557	632
1株当たり当期純利益	円	44	55	51	67	98	110	59	70
自己資本比率	%	64	69	70	58	77	78	72	69
自己資本利益率	%	30	28	22	25	28	24	11	12
営業キャッシュフロー	百万円	576	1,246	651	1,934	1,941	1,186	695	886
投資キャッシュフロー	百万円	-433	-674	-671	-1,020	-412	-886	-1,507	-877
財務キャッシュフロー	百万円	69	-230	-7	933	-1,736	298	263	380
現金及び現金同等物の期末残高	百万円	1,324	1,695	1,660	3,453	3,355	4,026	3,536	4,022
従業員数	名	233	285	309	353	387	403	428	463

出所：同社資料よりOmega Investment作成、小数点以下四捨五入



2024年4月期通期決算動向

Hamee株式会社（以下、同社）は、2024年6月14日引け後、2024年4月期通期決算を発表した。

大幅な増収増益、修正計画を上回る着地

売上高176.1億円（前年度比+25%増）、営業利益19.1億円（同+50%増）、経常利益20.1億円（同+44%増）、親会社株主に帰属する当期純利益11.2億円（同+18%増）となり、Q3時点で修正のあった通期計画をいずれも上回る、大幅増収増益の着地となった。

コマースセグメント、プラットフォームセグメントのいずれも増収増益、利益率も良好化した。

なお、1株配当は22.5円に据え置かれ、バランスシートでは商品在庫が増えている。

連結

24年4月期4Q 連結概況

- 両セグメントの健闘により前年比会計期間で38.1%、累計期間で25.5%と大幅増収
- 営業利益および親会社株主に帰属する当期純利益は会計期間にて前年比大幅上昇
- 各段階利益においても累計期間にて前年比大幅上昇

(百万円)	会計期間				累計期間			
	2023/04 4Q実績	2024/04 4Q実績	増減額	前年比	2023/04 1Q~4Q実績	2024/04 1Q~4Q実績	増減額	前年比
連結業績概況								
売上高	3,496	4,829	1,332	38.1%	14,038	17,612	3,573	25.5%
売上総利益	1,979	2,852	872	44.1%	8,475	10,866	2,391	28.2%
営業利益	101	555	453	447.2%	1,271	1,917	646	50.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	130	428	297	228.4%	945	1,121	176	18.6%

出所：同社資料より Omega Investment 作成

連結

24年4月期4Q セグメント別概況

- コマースセグメントの健闘により、売上・利益ともに累計において前年比30%を超える
- 連結営業利益は会計期間 447.2%、累計期間 50.8%と大きく上昇

(百万円)	連結セグメント概況	会計期間				累計期間			
		2023/04 4Q実績	2024/04 4Q実績	増減額	前年比	2023/04 1Q~4Q実績	2024/04 1Q~4Q実績	増減額	前年比
コマース	売上高	2,752	3,934	1,181	42.9%	10,655	13,855	3,200	30.0%
	セグメント利益	27	402	374	1,361.8%	696	1,069	373	53.7%
	利益率	1.0%	10.2%	9.2%	—	6.5%	7.7%	1.2%	—
プラットフォーム	売上高	743	895	151	20.4%	3,383	3,756	373	11.0%
	セグメント利益	315	446	131	41.7%	1,509	1,925	415	27.5%
	利益率	42.4%	49.9%	7.5%	—	44.6%	51.3%	6.6%	—
連結	売上高	3,496	4,829	1,332	38.1%	14,038	17,612	3,573	25.5%
	セグメント利益	342	848	505	147.6%	2,205	2,994	788	35.8%
	調整額※1	△241	△293	△ 52	—	△934	△1,077	△142	—
	営業利益	101	555	453	447.2%	1,271	1,917	646	50.8%
	利益率	2.9%	11.5%	8.6%	—	9.1%	10.9%	1.8%	—

※1 調整額：全社的な本部費用を「調整額」として記載しております。

2024 Hamee Corp. All Rights Reserved |



出所：同社資料より Omega Investment 作成



2024年4月期通期決算動向

コマースセグメント

構成する5事業がいずれも増収となり、コスメティクス事業はQ4に営業利益が黒字化した。

売上高は138.5億円（同+30%増）、営業利益は10.6億円（同+53%）である。

増収の牽引役はコスメティクス事業（22.1億円、同+652%増）、グローバル事業（28.6億円、同22%増）、ついでゲーミングアクセサリ事業（11.1億円、同+45%増）であり、モバイルライフ事業も健闘した。

営業利益は、コスメティクス事業の収益改善、モバイルライフ事業の商品ミックス管理とコスト削減の寄与、そしてグローバル事業の増益が寄与している。ゲーミングアクセサリ事業も商品ラインナップの拡充が奏功し採算が改善した。なお、コスメティクス事業の取り扱い店舗は5,000店舗を超え、その営業利益はQ4に待望の黒字転換を果たしている。

総じて言えば、各事業がいずれも成長と収益率の改善が進み、コマースセグメント全体としてレジリエントな成長軌道に乗っていると考えて良さそうだ。

連結

24年4月期4Q コマースセグメント概況(売上高)

- 全事業において会計、累計ともに前年比増収を達成
- モバイルライフ事業は期初計画に未達も、累計期間3.2%増収となり健闘
- ゲーミングアクセサリ事業およびコスメティクス事業が大幅に増収
中核事業へのステップとなり、単一事業依存からの脱却、事業ポートフォリオ形成が進む

コマースセグメント	会計期間				累計期間			
	2023/04 4Q実績	2024/04 4Q実績	増減額	前年比	2023/04 1Q-4Q実績	2024/04 1Q-4Q実績	増減額	前年比
売上高	2,752	3,934	1,180	42.9%	10,655	13,855	3,200	30.0%
モバイルライフ事業	1,838	1,861	23	1.3%	7,157	7,387	230	3.2%
ゲーミングアクセサリ事業	190	440	250	131.6%	769	1,115	346	45.0%
コスメティクス事業	151	799	647	428.2%	294	2,219	1,924	652.3%
新規事業投資	38	72	33	85.2%	101	270	169	166.7%
グローバル事業	534	760	225	42.3%	2,332	2,863	530	22.7%

連結

24年4月期4Q コマースセグメント概況(営業利益)

- コスメティクス事業は会計期間において、黒字化を実現。累計期間にて採算改善が顕在化
- モバイルライフ事業は周辺アクセサリを含む売れ筋商材に絞った商品ミックスの変化やコスト削減に努めた結果、利益が改善し、会計期間では前年比97.1%の増益を達成

コマースセグメント	会計期間				累計期間			
	2023/04 4Q実績	2024/04 4Q実績	増減額	前年比	2023/04 1Q-4Q実績	2024/04 1Q-4Q実績	増減額	前年比
営業利益	27	402	374	1,361.8%	696	1,069	373	53.7%
モバイルライフ事業	174	343	169	97.1%	1,223	1,399	176	14.4%
ゲーミングアクセサリ事業	△7	28	35	—	2	16	14	700.5%
コスメティクス事業	△104	54	158	—	△489	△232	257	—
新規事業投資	△96	△55	41	—	△258	△230	28	—
機能部署	△35	△72	△36	—	△105	△310	△204	—
グローバル事業	97	103	6	6.2%	324	426	101	31.2%
営業利益率	1.0%	10.2%	9.2%	—	6.5%	7.7%	1.2%	—

出所：同社資料より Omega Investment 作成



2024年4月期通期決算動向

プラットフォームセグメント

通期売上高は37.5億円（同+11%増）、営業利益19.2億円（同+27%増）、売上高営業利益率51.3%（同+6.6ポイント改善）となった。

主力のネクストエンジン事業では、顧客数が順調に増加したものの、受注処理件数が減少している。これは同社顧客の扱うEC市場が伸び悩んでいるためと推察される。これに対してサービス価格改定、およびメルカリとの営業連携を進めることでAPRUを改善し受注処理件数減少の影響を打ち返している。

連結

24年4月期4Q プラットフォームセグメント概況

- サービス価格の改定に伴うARPUの向上と他社と営業連携に付随するインセンティブ売上などにより、**ネクストエンジン事業は大幅な増収・増益を達成**
- コンサルティング事業**は体制整備に伴い減収となるも、採算管理が浸透し**営業利益は期初計画を上回る**

(百万円)	会計期間				累計期間			
	2023/04 4Q実績	2024/04 4Q実績	増減額	前年比	2023/04 1Q~4Q実績	2024/04 1Q~4Q実績	増減額	前年比
プラットフォームセグメント								
売上高	743	895	151	20.4%	3,383	3,756	373	11.0%
ネクストエンジン事業	603	747	143	23.8%	2,400	2,820	419	17.5%
コンサルティング事業	100	98	△1	△1.7%	472	415	△57	△12.2%
ロカルコ事業	39	49	9	24.7%	509	520	11	2.2%
営業利益	315	446	131	41.7%	1,509	1,925	415	27.5%
営業利益率	42.4%	49.9%	7.5%	—	44.6%	51.3%	6.6%	—

ネクストエンジン事業 —総契約社数推移

- 基本利用料を月額10,000円から3,000円に引き下げたことでEC販売における流通額が小規模な事業者への間口が広がり、コロナ禍の反動により鈍化した前期に比べて契約獲得ペースは改善。四半期平均で100社を超える純増数を維持。
- 4Qの契約純増数は**106社**で着地し今期累計契約純増数は**484社**となる。

総契約社数

プラットフォーム



出所：同社資料より Omega Investment 作成

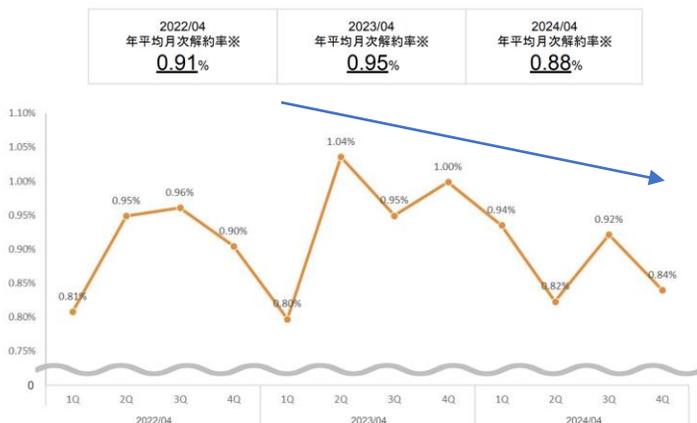
2024年4月期通期決算動向

プラットフォームセグメント

ネクストエンジン事業 —解約率推移

- ECから撤退する事業者は一定数認められるものの、年平均月次解約率は1.00%以下を維持し引き続き低位で推移。

解約率



※ 年平均月次解約率…各四半期期間における解約数の平均から四半期末時点の契約社数を除算した数値を単純平均しております。

プラットフォーム

ネクストエンジン事業 —ARPU推移

- サービス価格の改定と、各ECモールの年度末セールに付随する顧客EC事業者の受注処理件数増加、株式会社メルカリの運営する「メルカリShops」とネクストエンジンのシステム連携及び営業連携の効果もあり売上が増加した結果、3Qに引き続き4Qも対前年同期比でARPUが向上。

ARPU



※ 年平均ARPU…各四半期期間において算出したARPUを単純平均しております。

プラットフォーム

ネクストエンジン —各種指標データ

年度	2023/4					2024/4				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
契約社数(社)	5,560	5,598	5,651	5,772	5,772	5,917	6,033	6,150	6,256	6,256
導入店舗数(店)	43,049	44,221	45,116	45,937	45,937	46,865	47,728	49,311	50,471	50,471
GMV(億円)	2,967	2,777	3,300	3,017	12,061	2,797	2,623	2,921	2,795	11,138
ARPU(円)	35,833	34,434	36,864	34,977	35,527	35,392	32,863	46,534	39,983	38,693
月次解約率	0.80%	1.04%	0.95%	1.00%	0.95%	0.94%	0.82%	0.92%	0.84%	0.88%
受注処理件数(万件)	3,924	3,587	4,117	3,731	15,359	3,702	3,314	3,638	3,553	14,209
LTV(Lifetime Value)(円)	4,493,902	3,323,480	3,881,696	3,500,899	3,799,994	3,784,611	3,991,849	5,050,357	4,779,658	4,401,619

※GMV及び受注処理件数はキャンセル処理分を除いた各四半期末における合計値、月次解約率は四半期期間における解約数の平均から四半期末時点の契約社数を除算した数値を記載しております。

出所：同社資料より Omega Investment 作成



2025年4月期決算会社予想および中期計画の更新

向こう2年度の計画を見直し。増収増益基調を継続するが利益予想は下方修正

今回の決算では、2023年6月14日公表の中期経営計画を見直し、向こう2ヵ年の会社予想を公表している。増収増益が続く計画であり、その概要は以下の通りである。

連結

中期経営計画(25/04期~26/04期)連結概要

(百万円)		実績	中期経営計画			
			2024/04	2025/04	前期比	2026/04
連結セグメント						
コマース	売上高	13,855	15,750	13.7%	19,399	23.2%
	セグメント利益	1,365	1,976	44.8%	2,601	31.6%
	利益率	9.9%	12.6%	—	13.4%	—
プラットフォーム	売上高	3,756	3,995	6.4%	4,651	16.4%
	セグメント利益	1,925	1,997	3.8%	2,391	19.7%
	利益率	51.3%	50.0%	—	51.4%	—
連結	売上高	17,612	19,745	12.1%	24,050	21.8%
	セグメント利益	3,290	3,974	20.8%	4,992	25.6%
	調整額※	△1,373	△1,890	37.6%	△1,960	3.7%
	営業利益	1,917	2,084	8.7%	3,031	45.4%
	利益率	10.9%	10.6%	—	12.6%	—

※ 調整額: 全社的な本部費用を「調整額」として記載しております。なお、各事業セグメントの業績をより適切に評価するため、一般管理費のうち本社管理費等を調整額に含めるよう配分方法を変更しております。

中期経営計画(25/04期~26/04期)コマース概要

(百万円)		実績	中期経営計画			
			2024/04	2025/04	前期比	2026/04
コマースセグメント						
売上高		13,855	15,750	13.7%	19,399	23.2%
モバイルライフ事業		7,387	7,927	7.3%	8,455	6.7%
ゲーミングアクセサリ事業		1,115	1,195	7.2%	2,300	92.4%
コスメティクス事業		2,219	2,963	33.5%	4,274	44.2%
その他		270	148	△ 45.1%	200	34.6%
グローバル事業		2,863	3,516	22.8%	4,170	18.6%
セグメント利益		1,365	1,976	44.8%	2,601	31.6%

中期経営計画(25/04期~26/04期)プラットフォーム概要

(百万円)		実績	中期経営計画			
			2024/04	2025/04	前期比	2026/04
プラットフォームセグメント						
売上高		3,756	3,995	6.4%	4,651	16.4%
ネクストエンジン事業		2,820	2,872	1.9%	3,060	6.5%
ロカルコ事業		520	633	21.6%	619	△ 2.2%
コンサルティング事業		415	378	△ 8.8%	498	31.7%
エンサーモール事業		-	110	-	473	326.8%
セグメント利益		1,925	1,997	3.8%	2,391	19.7%

出所：同社資料より Omega Investment 作成



2025年4月期決算会社予想および中期経営計画の更新

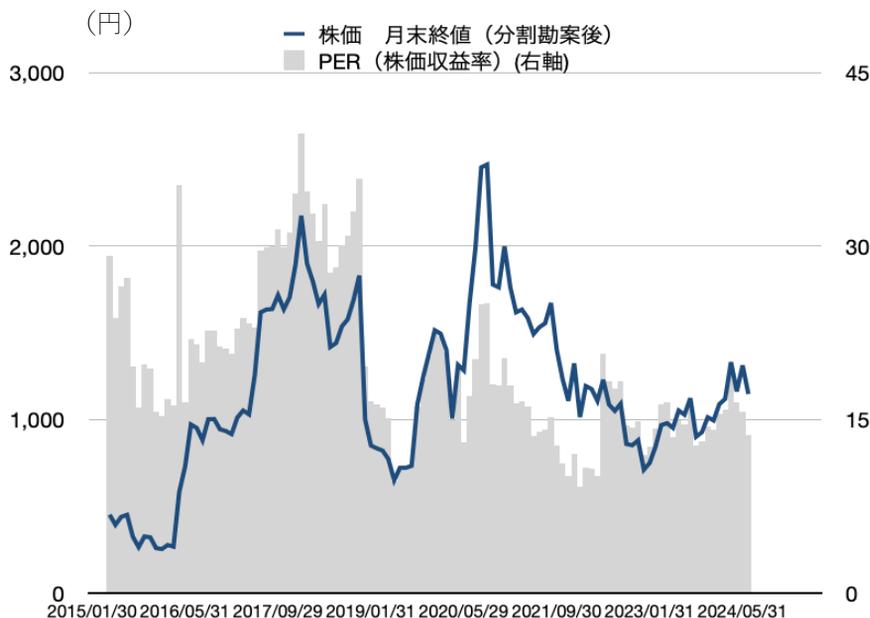
注目点は次の通りである。

- 1. コマースセグメントが牽引、調整額増加**：2024年4月期から2026年4月期までに営業利益は11.1億円増益の計画で、これを分解するとコマースセグメント12.3億円増益、プラットフォームセグメント4.6億円増益、調整額5.8億円の費用増という構成である。つまり、コマースセグメントの寄与度が高く、また調整額が大きい計画である。
- 2. コスメティクスの主力事業化、コマースセグメントは主要全事業が離陸**：利益を牽引するコマースセグメントでは、モバイルライフ事業の着実な成長に加えて、コスメティクス事業の主力事業化、グローバル事業の高成長、およびゲーミングアクセサリ事業の尻上がりの成長が計画されている。これに伴いセグメント利益率は2024年4月期の9.9%から13.4%まで改善する。
- 3. プラットフォームセグメントの成長は一旦減速へ**：プラットフォームセグメントも増収増益が続く計画である。しかし、2025年4月期の会社予想は売上高39.9億円（同+6%増）、営業利益19.9億円（同+3%増）、セグメント利益率50.0%（同1.3ポイント低下）とされており、その成長が一旦減速する。これはネクストエンジン事業において、2024年4月期のQ3以降に寄与したメルカリとの営業連携によるARPU引き上げ効果が一巡するため、同事業の売上高が28.7億円（同+1%増）にとどまることが主因である。同社によれば、この影響を除くネクストエンジン事業の売上高成長率は+8.4%と想定している。なお、2026年4月期においては、ネクストエンジン事業の売上高成長率が再加速しさらにコンサルティング事業の拡大とエンサーモール事業の本格的な立ち上がりが想定されており、セグメント全体が二桁の増収増益をする想定である。
- 4. セグメント利益調整額の増加**：セグメント利益の合計と連結営業利益の差分が調整額（全社の本部費用）である。この数値は2024年4月期実績13.7億円に対して、中期計画では2025年4月期18.9億円、2026年4月期19.6億円と増加が大きい。この全容についての開示はないが、同社との対話によれば、組織再編（ネクストエンジン社の株式分配型スピンオフと上場）のために必須の経費増、および戦略的な支出予定額などが含まれている模様である。連結営業利益額に対して大きなウエイトを占めていることから、この費用の発生状況には注目が必要である。
- 5. 2025年4月期会社予想における営業利益・経常利益の成長率が低下**：以上を踏まえた2025年4月期会社予想は、売上高197.4億円（同+12%増）、営業利益20.8億円（同+8%増）、経常利益20.5億円（同+1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益13.6億円（同+21%増）であり、営業利益・経常利益の成長率が低下することになる。
- 6. 従来計画に対して営業利益予想は下方修正**：中期経営計画の更新前後を比較すると、連結売上高は2025年4月期、2026年4月期いずれも上方修正されているが、連結営業利益はいずれも下方修正になっており営業利益率も下方修正になった。



株価動向

Hameeの株価動向



上段は同社株価の月末終値とPER（株価収益率）の長期推移を、下段は過去1年間の日次の株価推移を示している。

下段のグラフの示す通り、株価は当決算発表を受けて急落し、その後下値を固めている。また上段のグラフが示す通り、PERが10倍台後半から10倍台前半へと低下している。

これは今期、来期の営業利益見通しが従来と比較して下方修正されたこと、特にバリュエーション指標の鍵となるプラットフォーム事業の営業利益見通しが下方修正されその成長率が一旦足踏みすることを織り込む動きと理解できる。

ただし、2016年1月からの長期上昇トレンド、および2023年1月以降の中期上昇トレンドは継続しており、同社に対する成長期待に大きな変化はないと言えるだろう。



今後の注目点

今後の株価形成のポイントは、2事業がいずれも自立して成長軌道が続けること、特にプラットフォームセグメントの成長率が再加速することである。

より具体的には、

1. コマースセグメントにおいてコスメティクス事業が通年黒字転換し、同セグメントが複数のドライバーによって安定的に成長する構造になること
2. プラットフォームセグメントのネクストエンジン事業において、その受注処理件数が着実に成長しプラットフォームマーとして地位を固め、利益成長が再加速すること
3. プラットフォームセグメントの新事業であるエンサーモール事業のポテンシャルが高まり、プラットフォームセグメントの事業価値評価を牽引する新たな柱に育つことが株価の本格的な反騰を導くと考えられる。

(注) エンサーモール事業は、メーカーとECショップなどの小売店をつなぐ卸売マーケットプレイスで、2024年1月にベータ版をリリース。GMVに対する課金を行うビジネスモデル。2025年4月期に正式リリースが予定される。

業績推移

通期業績推移

(百万円)

決算期	2017年4月	2018年4月	2019年4月	2020年4月	2021年4月	2022年4月	2023年4月	2024年4月	2025年4月	2026年4月
連結・日本基準									中期経営計画	中期経営計画
【損益計算書】										
売上高	8,502	9,377	10,303	11,325	12,364	13,413	14,038	17,612	19,745	24,050
営業利益	1,106	1,380	1,164	1,745	2,180	2,202	1,271	1,917	2,084	3,031
経常利益	1,048	1,267	1,179	1,757	2,149	2,330	1,400	2,019		
税金等調整前四半期純利益	1,010	1,259	1,179	1,582	2,144	2,463	1,396	2,009		
親会社株主に帰属する当期純利益	696	873	821	1,069	1,556	1,744	945	1,122		
【貸借対照表】										
資産合計	4,240	5,042	5,761	8,097	8,339	10,518	12,320	14,512		
負債合計	1,484	1,445	1,572	3,272	1,811	2,265	3,360	4,355		
純資産合計	2,756	3,597	4,189	4,824	6,528	8,253	8,961	10,157		
借入金合計	468	298	500	1,740	104	544	1,300	2,197		
【キャッシュ・フロー計算書】										
営業活動によるキャッシュフロー	576	1,246	651	1,934	1,941	1,186	695	886		
投資によるキャッシュフロー	-433	-674	-671	-1,020	-412	-886	-1,507	-877		
財務によるキャッシュフロー	69	-230	-7	933	-1,736	298	263	380		
現金及び現金同等物の期末残高	1,324	1,695	1,660	3,453	3,355	4,026	3,536	4,022		
【経営効率】										
売上高経常利益率	12%	14%	11%	16%	17%	17%	10%	11%		
ROA		19%	15%	15%	19%	18%	8%	8%		
ROE	30%	28%	22%	25%	28%	24%	11%	12%		
【一株指標】 単位：円										
EPS	44	55	51	67	98	110	59	70		
BPS	170	216	254	297	405	513	557	632		
DPS	4.5	5.5	6.5	7.0	10.0	22.5	22.5	22.5		
【従業員数】										
連結従業員数	233	285	309	353	387	403	428	463		

出所：同社IR資料よりOmega Investment作成
四捨五入

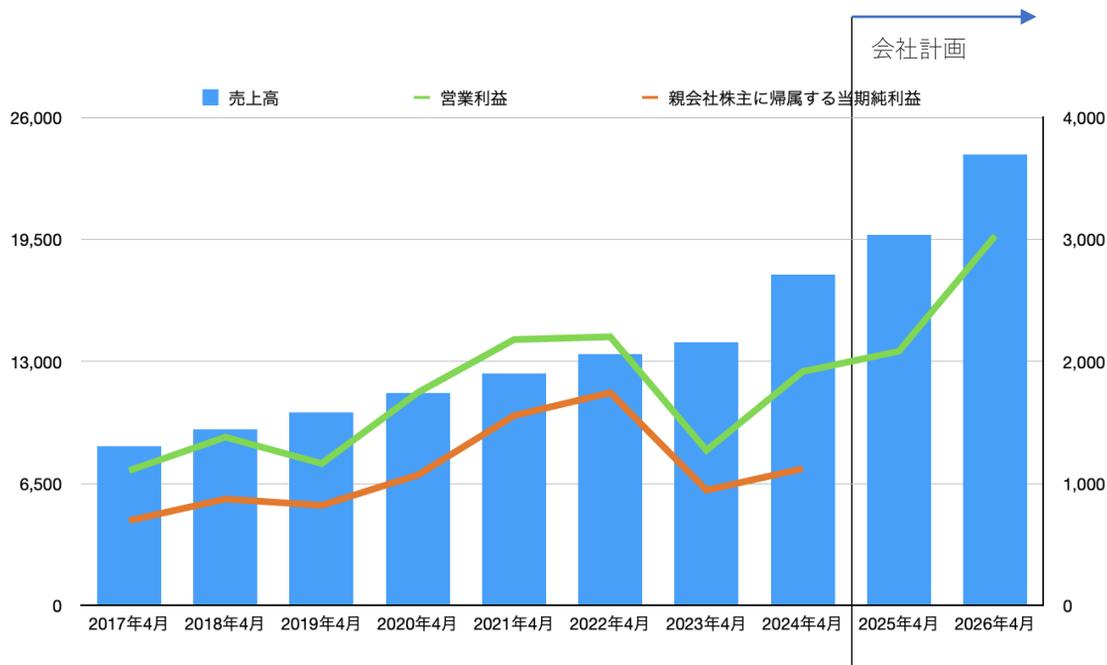
業績推移

通期損益計算書主要項目推移

単位：百万円

売上高：左軸

営業利益・親会社株主に帰属する純利益：右軸

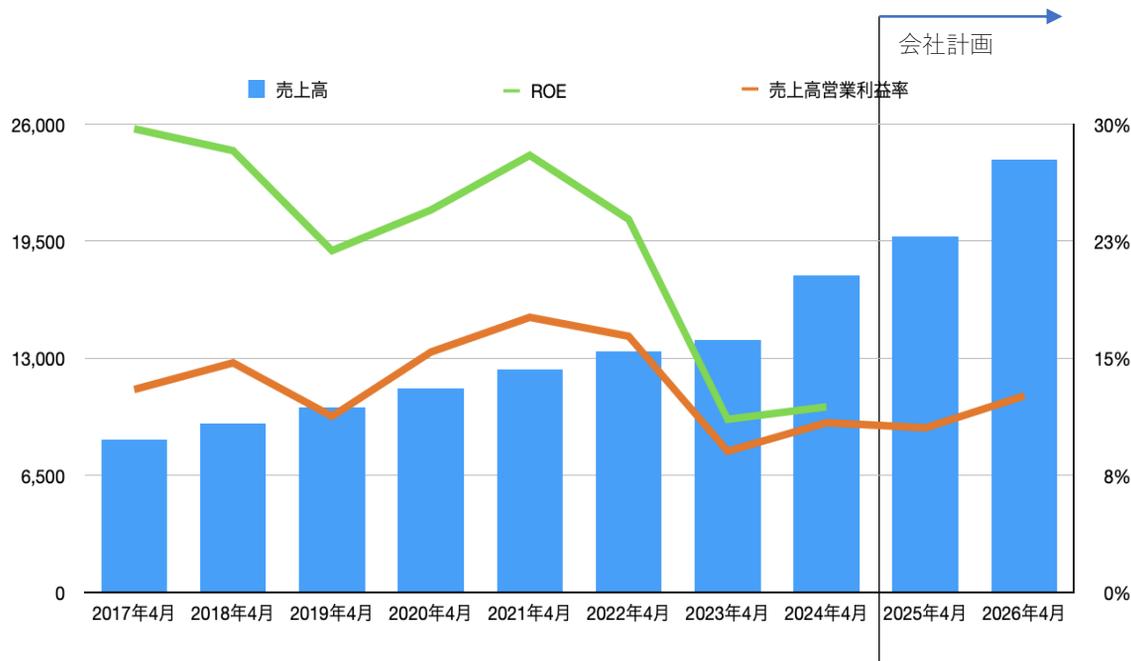


通期売上高・売上高経常利益率・ROE推移

単位：
左軸百万円
右軸%

売上高：左軸

売上高営業利益率・ROE：右軸



出所：同社IR資料よりOmega Investment作成



Hamee 株式会社

会社概要

会社	Hamee株式会社
創業	1997年4月
設立	1998年 5月 ※マクロウィル有限会社として
資本金	598,262千円(2023年4月30日現在)
取締役	代表取締役会長：樋口 敦士 代表取締役社長：水島 育大 取締役：鈴木 淳也
社外取締役/監査等委員	熊王 斉子、染原 友博、吉野 次郎
従業員数	連結428名(2023年4月30日現在)
ウェブサイト	https://hamee.co.jp
所在地	■本社 〒250-0011 神奈川県小田原市栄町2-12-10 Square O2 ■大阪営業所 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-2-28 オーク堂島ビル6階A室
子会社	■NE株式会社 〒250-0011 神奈川県小田原市栄町1-6-4 勝俣組ビル6階 ■Hamee Global Inc. 3F, Gasan A1Tower, 205-27, Gasan digital 1-ro, Geumcheon-gu, Seoul, Republic of Korea 08503 ■Hamee US, Corp. 635 Hawaii Ave., Torrance CA 90503 ■Hamee Shanghai Tech & Trading Co., Ltd. J0293 Room 302 Building 6, Lane 599 Yungu Road, Malu Town, Jiading District, Shanghai, China



主要株主の状況

2023年4月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所 有株式数の割合 (%)
AOI株式会社	神奈川県小田原市栄町二丁目12-15	5,312,000	33.37
樋口 敦士	神奈川県小田原市	2,533,400	15.92
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11-3	823,900	5.18
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	245 SUMMER STREET BOSTON, MA 02210 U. S. A. (東京都千代田区丸の内二丁目7-1)	542,264	3.41
北村 和順	神奈川県小田原市	473,700	2.98
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	東京都中央区晴海一丁目8-12	422,000	2.65
INTERACTIVE BROKERS LLC (常任代理人 インタラクティブ・ブローカーズ証券株式会社)	ONE PICKWICK PLAZA GREENWICH, CONNECTICUT 06830 USA (東京都千代田区霞が関三丁目2-5)	198,400	1.25
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL (常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社)	PLUMTREE COURT, 25 SHOE LANE, LONDON EC4 A 4AU, U. K. (東京都港区六本木六丁目10-1)	173,886	1.09
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NON TREATY C LIENTS ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT, UK (東京都中央区日本橋三丁目11-1)	171,192	1.08
STATE STREET B ANK AND TRUST COMPANY 505103 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	P. O. BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U. S. A. (東京都港区港南二丁目15-1)	144,500	0.91
計	—	10,795,242	67.83

株主構成

2023年4月30日現在

区分	株式の状況(1単元の株式数100株)								単元未満 株式の状況 (株)
	政府及び 地方公共 団体	金融機関	金融商品 取引業者	その他 の法人	外国法人等		個人 その他	計	
					個人以外	個人			
株主数(人)	—	7	20	59	46	26	6,970	7,128	—
所有株式数 (単元)	—	12,869	1,315	54,655	18,225	291	75,351	162,706	9,400
所有株式数 の割合(%)	—	7.91	0.81	33.59	11.20	0.18	46.32	100.00	—

(注) 自己株式363,700株は、「個人その他」に3,637単元含まれております。



General disclaimer and copyright

本レポートは当該企業への取材や決算資料等を元に作成・表示したのですが、その内容及びデータの正確性、完全性、信憑性を保証するものではありません。本レポートは、情報提供のみを目的としており、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。オメガインベストメントは、本レポートの使用により発生した結果について一切の責任を負うものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への取材を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はオメガインベストメントの調査によるものです。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はオメガインベストメントに帰属します。配布、譲渡、複製、及び転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。